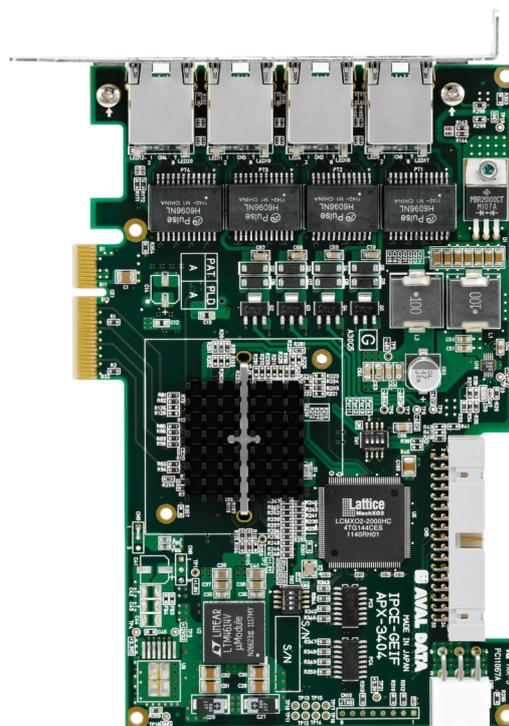


4台のカメラを接続できる GigE Vision 向けインターフェースボードを開発

株式会社アバールデータ（以下アバール、代表：嶋村清、本社：東京都町田市旭町 1-25-10、URL：<http://www.avaldata.co.jp>、E-Mail: sales@avaldata.co.jp）は、GigE Vision(Gigabit Ethernet Vision) 向けインターフェースボード APX-3404 を開発、2012年2月27日より発売開始する。

価格面でのメリットやセットアップやメンテナンスが容易なことから GigE Vision カメラが日本国内で認知され広まりつつある。しかし、カメラ専用を用意されたインターフェースボードはまだ少ない状態にある。今回発売する APX-3404 は、カメラ用の Power over Ethernet(PoE+)インターフェース ×4ch と IO インターフェースを搭載。4台のカメラを接続でき、Ethernt I/F で PoE カメラを自動認識して電源を供給することができる。IO インターフェースを標準搭載していることで、PLC/シーケンサーとの接続やカメラのトリガ信号出力が1枚のボードで可能となる。PCI Express 2.0 ×4 レーン (Gen2) 規格のボードとなる。移り変わりの早いコンシューマのネットワークカードに対し、FA 機器メーカーならではのロングライフを実現している。



製品名 : 画像入力ボード
 型式名称 : APX-3404
 受注開始 : 2012年2月27日
 出荷開始 : 2012年4月末
 販売予定価格 : ¥58,000 (消費税別)

■製品に関する問い合わせ先
 株式会社アバールデータ 営業部
 電話 : 042-732-1030 FAX : 042-732-1032
 電子メール : sales@avaldata.co.jp
 ホームページ : <http://www.avaldata.co.jp>

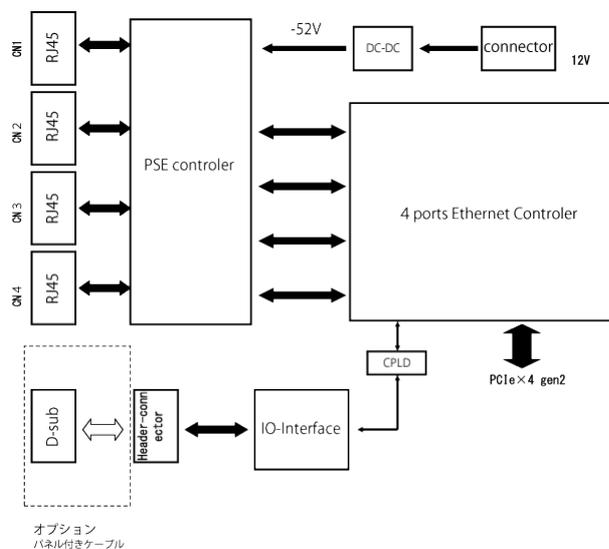
■製品の特長

- PCI-Express × 4 レーン
- 4 つの Gigabit Ethernet ポート
- Power Over Ethernet(PoE+) IEEE802.3at に対応し、PoE カメラを自動認識
- PLC/シーケンサーとの接続を目的とした 4×フォトカプラ入力+4×アイソレーション信号出力
- カメラのトリガ信号波形整形を目的とした 4 組のフォトカプラ入力+オープンコレクタ出力
- 9kbyte ジャンボフレームに対応

■APX-3404 主な仕様

項目	仕様
Ethernet インターフェース	◎1000BaseT、100BaseTX、10BaseT ◎4ports Ethernet Controller: ◎Power Over Ethernet(PoE+) IEEE802.3at 30W/port 供給 PoE 電源受け入れ用コネクタ有り ◎9kB Jumbo frame ◎RJ45 Connector
I/O インターフェース	4x(フォトカプラ入力+オープンコレクタ出力)カメラトリガ用、4x(オープンコレクタ出力)汎用出力
システム bus	PCI Express 2.0 x4(Gen2) 5.0GT/S
電源	+3.3V +12V
環境	動作温度 0~50°C 湿度 35%~85% (無結露)
寸法	168mm × 112mm、パネル幅 20mm (突起物含まず)
対応 OS	WindowsXP/Vista/7 各 32bit/64bit に対応
オプション IO	インターフェース用パネル付きケーブル
ソフトウェア (オプション)	DIO 制御ドライバ WindowsXP/7 各 32/64bit に対応

■APX-3404 ブロック図



■APX-3404 パネル面

